

NGO 外務省定期協議会 10 年度第 1 回連携推進委員会報告事項
草の根人間の安全保障支援無償への NGO の協力について

2010 年 6 月 18 日

草の根小規模無償(GGP)4月21日と5月21日の二度ほど、タスクフォース(NGO側は(財)ジョイセフの浜野氏、(特活)地球の友と歩む会の米山氏とシャプラニールの大橋)が外務省国協局総括課の今福首席事務官たちと会合をもった。

本件は、今の段階では以下のような次第になっている。

1. 8 月初めに、バングラデシュで一週間ほど現地調査を行う。これには外務省から一名と、NGO 側から大橋が参加する。この為の予算はないので、NGO 側が別個に工夫する。
2. 外務省側の情報やデータ(地域/国別、分野別案件数、ガイドラインなど)の提供を受け、さらに詳細なデータを頂いたが、これは限定的共有となっている。
3. 当面現地調査が行われる 7 月まで毎月協議を行い、検討を重ねる。6 月と 7 月の協議では、他の NGO の関係者の参加を呼び掛ける。
4. これまでのデータ分析(主にジョイセフの協力による)では、貧困に苦しむアフリカや南アジアより、中南米に実績が多いという興味深い結果が出ている。110 カ国 137 の在外公館で実施され、委嘱員は合計 204 名。昨年度は三回の応募締め切りがあった。
5. 次回の会合は 6 月 28 日午後 2 時半から二時間の間、外務省で行う予定。これには上記三名のほか、事務局としてシャプラニールの藤崎が参加する予定。また他の NGO 関係者の参加呼びかけも行う予定。

またこの間、NGO外務省定期協議会の関係者にアンケートでの協力を呼びかけ、また上記の趣旨のメールを送ったが、残念ながら反応が一件もない。本件は、相手の市民社会組織に裨益する、外務省に対する日本の市民社会の支援である。皆様の積極的な関わりを期待する。

(文責:大橋正明/シャプラニール)